はらむら
# 議会だより

143号

成人したら、みんなで乾杯！ - ワインブドウ収穫

2020年
9月
定例会

特集


コロナ対策補正予算
新しい生活様式に対応 P2
令和元年度一般会計決算
村のお金はどう使われた？ P4
一般質問　村政を問う　９人が登壇 P8
声：こんな村になってほしい！ P12


the most beautiful villages in japan
原村
長野県

# コロナ対策補正予算
## 新しい生活様式に対応

国の第2次補正予算に伴い、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1億7891万円が追加交付されました。村の一般財源2608万円とあわせて、大型のコロナ対策の補正予算が組まれました。

これで、前号の議会だよりでお伝えした補正とあわせて、今年度のコロナ対策補正予算は総額11億3497万円（国庫支出金10億8479万円、その他2405万円、一般財源2613万円）となりました。

ここでは、新しい生活様式の対応を中心とするコロナ対策の一部を紹介します。

### 八ヶ岳自然文化園

**◆文化園事業再開支援金　1000 万円**
**◆電動アシストマウンテンバイク 10 台　400 万円**
**◆ゴーカートキット　78 万円**
**◆調理工作室空調設備導入　320 万円**
**◆レストラン換気扇設置　30 万円**

村が国要請の休業期間＋αの休園を求めた為、その後の再開に対して支援金を支給した。

また、コロナ禍でも心配なく足を運んでもらえる、密になりにくい稼げる施設とするため、レンタル用の電動アシストマウンテンバイク購入、旧グレステンスキー場を転用したゴーカート場を整備した。

建物内は調理工作室とレストランへ感染予防のための空調整備機器を導入した。

### 樅の木荘

**◆樅の木荘事業再開支援　500 万円**
**◆グランピング施設設置事業　390 万円**
**◆樅の木荘周辺遊歩道等整備事業　480 万円**
**◆ RV パーク拡張事業（電気設備費）　40 万円**

村の休業要請に伴い休業した樅の木荘に、その後の再開に対して支援金を支給した。支給額は休業期間の光熱費にあたる額。

コロナ禍の中で密を避ける施設として、樅の木荘・もみの湯の事業内容に「キャンプ施設」のグランピング施設設置を行なう。

グランピング施設はテント２張り設置しキャンプ道具を持って来なくても、大人４名程度が充分寝泊まりでき、家族利用も見込まれる。食事やお風呂などは樅の木荘を利用する。

RV パークも利用者が増え、電気コンセント設備増と駐車スペースを増やす。

樅の木荘周辺遊歩道整備は宿泊者などの散策コースとなり周辺の環境整備にもなる。

**議会の気ニナル言イタイ**

地方創生臨時交付金を活用した、グランピング施設や RV パーク拡張の計 870 万円の事業は、コロナ禍で落ち込んだ経済活動の回復、地域経済を建て直すのが目的である事から、地域経済の建て直しを牽引できる施設となるよう期待する。

## 公の施設の感染防止対策

　役場庁舎、保健センター、中央公民館や八ヶ岳自然文化園等、村の施設のコロナ感染防止を行うため、多数の人が接するドアノブの改良、網戸の設置、空気清浄機の購入等、三密を防ぐ対策を行う。

　また、各施設に体温等を自動的に測れるサーマル AI カメラの導入、飛沫による感染防止のためのパーテーションの設置、消毒液の追加購入をし、施設利用者への感染防止策を図る。

　コロナ禍で、災害時の避難所設置マニュアルの見直しがされた。受付方法、収容人数や区画割など、コロナ対策が講じられる。

　プライバシーとともに避難所においてもソーシャルディスタンスを保つことが求められる。パーテーション、段ボールベッド、着替え用テント等、避難所に必要な物品を購入する。

## 事業者支援

**◆新しい生活様式対応支援補助金　1000 万**

　コロナ禍での経済活動活性化の為、村が示した感染対策を徹底している「原村あんぜん宣言認証店」に対し、感染防止対策の費用を補助する。

　補助内容：1 事業者につき、費用の 3/4、上限 10 万円

## ICT 教育

**◆大型モニター・実物投影機　84 万円**

　小中学校における ICT 環境整備を進めるため、令和３年度までの３年計画で実施してきた大型モニター・実物投影機配置を、GIGA スクール構想に併せて１年前倒しして全教室に配置し、教育における ICT 化を支援する。

## 保健福祉施設

**◆診療所施設改修工事　205 万円**

　この先、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの季節が重なることから、発熱者の診察に当たり診察室を分けることが必要となる。

　職員更衣室を診察室に改修、ベットなどの必要備品を購入整備し、今後の診療対応に備える。

**◆医療機関等感染拡大防止対策奨励金　350 万円**

　新型コロナウイルス感染症の感染リスクを負いながら施設運営を継続している医療機関、介護福祉施設、障がい者福祉施設に対して、感染拡大防止対策の取組みを奨励するため、奨励金を給付する。

関連質疑は P6 に掲載

## 防災関連

◆村防災行政無線更新　7138 万円
◆自然文化園自家発電用バッテリー更新他　1303 万円
◆県営農村地域防災減災事業　3115 万円
◆小型ポンプ付き積載車整備事業　928 万円

村防災行政無線が更新され、デジタル方式に移行した。消防団（非常備消防）関連では、第２分団の小型ポンプ付き積載車の更新等が行われた。全体として、古くなった設備の更新や補修が中心となっている。このほか、第１分団ハツ手屯所建替の設計委託が行われた。（建替工事は令和２年度実施。）

農業関連では、中新田南ため池改修他が行われた。堤体護岸や洪水吐における破損の進行や異常水位時の堤体決壊の危険性が懸念されていた。近年異常気象によるゲリラ豪雨や超大型台風の多発に備え、施設の改修を行うことで災害を未然に防止する事と、併せて農業用水源の確保を目的とした。

**議会の気ニナル言イタイ**

消防団関連では車両の更新が行われたが、屯所、器具置場の多くで老朽化が著しい。防災拠点ととらえて、整備を急ぐ必要があるのではないか。また、多額の費用をかけた村防災行政無線についても、今後有効に活用できるような運用体制を整えられるか注視したい。

## 教育関連

◆小学校体育館改修工事　5077 万円
◆中学校駐車場造成工事　990 万円
◆通学臨時便　59 万円
◆スクール・サポート・スタッフ配置　31 万円

小学校体育館の天井を、軽量材に変更及びバスケットゴール等の耐震補強、電気設備のＬＥＤ化を国庫補助金で実施。合わせて機能向上のため、ルーバー窓取付等の修繕工事を行った。

中学校は、送迎等の利便性向上のため、新たに南側土地を購入し駐車場を整備した。小学校も含め送迎については、レパストに委託し、朝１回「四季の森～役場」までの通学臨時便を実施した。

**議会の気ニナル言イタイ**

平成 11 年に竣工した小学校体育館が改修工事され、耐震工事に加え、長年の懸念であった暑さや雨漏りが改善された。多くは国の補助金によるもので、よりよい教育環境が整えられありがたい。

また、小中ともに送迎についての要望は多い。臨時便が実施され、中学は広い駐車場も整備された。

少しでも保護者の負担が減り、子供たちが快適な学校生活を送れることを願う。今年度は別の形での臨時便が実施されており、検証が必要だ。

歳入総額：46 億 9382 万 5944 円　歳出総額：43 億 7762 万 6968 円

決算特集

## 令和元年度一般会計決算を認定

# 村のお金はどう使われた？

本特集では、議会が注目した歳出の一部をピックアップし、紹介します。
決算に関する詳しい内容は「広報はら 10 月号」に掲載されています。ご確認ください。

## インフラ整備関連

**◆悠生寮西カーブ　385 万円**

毎年、冬期間に道路が日陰で凍結する箇所。カーブで下り坂であり、交通事故が発生しやすいため、山林 1057㎡を 282 万円で購入して伐採し、凍結防止を行った。今後は道路用地として管理していく。

**◆判之木御狩野線　測量設計　819 万円**

県道払沢富士見線から青柳駅に向かう道で、現在の道は幅 3.5 m～ 5 mですれ違いが困難なため、改修を行う。完成後は長さ 180 mが幅 5.5 mとなり、高校生の通学など利用者の利便性向上につながる。

**◆農場弓振 15 号橋**

**橋梁上部工事　4992 万円**

**取付け道路改良舗装工事　2245 万円**

まるやち湖北側から御柱道に続く道路に架かる橋。取り付け道路の改良もあわせて行い、大型バスでも通行ができるようになった。

**◆農地耕作条件改善事業**

**深山地区小規模基盤整備　3700 万円**

**柏木地区農道舗装　1000 万円**

農地耕作条件改善事業とは農地集積（一つ一つの農地の区画を大きくして効率化を図る。）を推進する国の補助事業。あわせて、同じ目的の県による小規模農業基盤整備事業も活用し、農地の整備を行った。

**◆文化財整理室移転事業　3300 万円**

老朽化していた旧保育所から旧 JA 柏木支所に移転する為の改修工事が完成した。広いスペースと明るい環境で作業することができるようになった。文化財整理作業の拠点として成果をあげてほしい。現在は賃貸であるが、買い取りを含めた、今後の方針を考える必要がある。

9月定例会

# 審議から Pick Up!

9月定例会（8月28日～9月18日）が開催されました。令和元年度一般会計決算、令和2年度一般会計補正予算、条例改正など村長提出議案20件、議員提出議案2件、陳情1件を審議しました。
ここでは審議における質疑や意見などをピックアップして掲載します。

## 令和元年度 一般会計決算

### プレミアム付商品券

消費税率引き上げによる消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起、下支えするため、低所得者と子育て世帯向けのプレミアム商品券を発行した。

販売実績は低所得者で対象1632人に対し、480人が1896冊、子育て世帯で対象196人が496冊購入。

**Q** 商工会への業務委託料の内容は。

**A** 人件費166万円、販売手数料14万円、商品券印刷代61万円、換金手数料78万円、事務費53万円、事務機器経費14万円が主なもので、総額で427万円。

**Q** 商品券の販売総額960万円に対して857万円の事業費は大きい。どう考えるか。

**A** 低所得者・子育て世帯が先に現金を払う仕組みに反応がにぶく、商品券の購入数が少なかった。

結果として、経費の割合が大きくなってしまった。

**Q** 利用率が低かったのは、村での周知不足ではなかったのか。また、使える店が限られていたことも原因なのではないか。早めに準備、周知して、利用店舗を増やせればよかった。どのような認識か。

**A** 周知については、各担当方面へ各課にて行い、有線放送等も頻繁に行った。不足していた認識はない。

国の対応が遅かった。各課の対応は、迅速で、他の市町村と比べても遅れはなかった。

利用可能店舗に関しては、その通りだと感じる。その反省を生かして、現在、コロナ経済対策等はスピード感を持って対応している。

### 保育園 入所児童数の状況は

**Q** 1～2歳児保育の定員40名のところ41名入所しているが問題はないか。

**A** 県の指導では、安全面の確保と保育士がいれば、5年間は定員の120％まで受け入れ可能。

**Q** 今後、増築の検討は。

**A** すぐに行う予定はない。今後、子ども子育て会議で、どのようにしていくか検討していく内容。

### 敬老会事業、今後は

**Q** 来年度の計画はどのようになっているか。

**A** 新しい生活様式を踏まえ、実施するかも含め検討。

※定例会終了後、今後はこれまでのように全体で行うのではなく、地区ごとに行うと決定された。

## 補正予算

### 診療所施設改修工事

**Q** コロナ対策の為、休憩室を診察室に改修整備との事だが、職員休憩室の確保は。

**A** 現在、休憩室は更衣室として利用されており、更衣室は別に確保したので問題ない。

### 医療機関等感染拡大防止対策奨励金

**Q** 対象施設と施設数は。

**A** 対象施設は、村内の老人福祉施設・障がい者福祉サービス事業所、指定障がい者支援施設（計9事業所）と、診療所・薬局・施術所（計8事業所）。

**Q** 奨励金は均等なのか。

**A** 事業形態ごとで異なる。

### 準要保護生徒就学援助費

対象となる生徒が小学校で10名、中学校で17名追加となり、補正が必要となった。

**Q** 対象増はコロナの影響か。

**A** コロナとは関係ない。当初の見積もりより多くなった。ひとり親家庭が増えたのも要因のひとつ。

## 令和元年度下水道事業会計

### 下水道、今後の管理は

**Q** 管路の維持管理を今後どのように行うか。

**A** 管路の状況は管路調査という形で漏水がないか確認。ポンプ等は30年近く経過しているので、17か所のポンプ場を順番で毎年更新していく。

**Q** 下水の区域は広げないとのことだが、人口が増えている地区も区域に含む予定はないのか。

**A** 今までどおり浄化槽でお願いする。場所によっては下流の下水管で受けきれない。

### 議会の気ニナル言イタイ

コロナ禍の中、議会召集が難しいとの理由ではあるが、専決事項が多いと感じた。専決事項はコロナ対策事業が主なものであり、早急に対応しなければならなかったのは理解できるが、充分な議会審議を経てからでも間に合う事業もあったと思う。

## 第３回定例会（8 月 28 日～9 月 18 日）　表決結果

| | | |
|---|---|---|
| 承認第　６号 | 専決処分の承認（令和２年度原村一般会計補正予算〈第４号〉） | 承認 |
| 承認第　７号 | 専決処分の承認（令和２年度原村一般会計補正予算〈第５号〉） | 承認 |
| 議案第 27 号 | 情報機器学習用タブレットの購入 | 可決 |
| 議案第 28 号 | 諏訪南行政事務組合規約の一部変更 | 可決 |
| 議案第 29 号 | 原村新型コロナウイルス特別経営対策利子補給基金条例 | 可決 |
| 議案第 30 号 | 原村手数料徴収条例の一部改正 | 可決 |
| 議案第 31 号 | 原村廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正 | 可決 |
| 議案第 32 号 | 原村レストハウス樅の木荘条例の一部改正 | 可決 |
| 議案第 34 号 | 令和２年度原村一般会計補正予算（第６号） | 可決 |
| 議案第 35 号 | 令和２年度原村国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算（第２号） | 可決 |
| 認定第　１号 | 令和元年度原村一般会計決算の認定 | 認定 |
| 認定第　２号 | 令和元年度原村国民健康保険事業勘定特別会計決算の認定 | 認定 |
| 認定第　３号 | 令和元年度原村国民健康保険直営診療施設勘定特別会計決算の認定 | 認定 |
| 認定第　４号 | 令和元年度原村農業者労働災害共済事業特別会計決算の認定 | 認定 |
| 認定第　５号 | 令和元年度原村後期高齢者医療特別会計決算の認定 | 認定 |
| 議案第 36 号 | 令和元年度原村水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定 | 可決及び認定 |
| 議案第 37 号 | 令和元年度原村下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定 | 可決及び認定 |
| 発委第　５号 | 一般会計予算・決算特別委員会の設置 | 可決 |
| 議案第 38 号 | 物品購入変更契約（情報機器学習用タブレットの購入） | 可決 |
| 議案第 39 号 | 令和２年度原村国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算（第３号） | 可決 |
| 発委第　６号 | 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書案の提出《提出者：総務産業常任委員長　松下　浩史》 | 可決 |

以上、全会一致

### 賛否が分かれた議案等

○は賛成、×は反対、△は趣旨採択、▽は退席、－は欠席、
議長は可否同数時のみ裁決する。

| | | 結果 | 宮坂早苗 | 中村浩平 | 森山岩光 | 百瀬嘉德 | 半田裕 | 佐宗利江 | 北原貴穂 | 宮坂紀博 | 松下浩史 | 平出敏廣 | 芳澤清人 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 議案第 33 号 | 八ケ岳自然文化園条例の一部改正 | 可決 | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 陳情第　４号 | 「原村気候非常事態宣言」を求める陳情《提出者：鮎川　ゆりか、小谷　憲昭》 | 可決 | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | |

陳情第４号

### 「原村気候非常事態宣言」を求める陳情

県は2019年12月に「気候非常事態宣言」を行い2050年には二酸化炭素の排出量を実質的にゼロとする決意をした。

その趣旨に賛同している原村に「原村気候非常事態宣言」をし、宣言を有効にするための具体的行動を、目標と期限を設け、第5次原村総合計画後期基本計画に盛り込むことを求める陳情。

**反対討論**

◆地方公共団体が、気候や天候、また天気などに対して、何らかの宣言することは不適切。自然現象ついては、常に変動があるため、注意報、警報などで注意喚起をうながすことが適切。

◆太陽光発電を規制する条例との矛盾、村の発展や大きなイベントの実施との矛盾が生じないか。また、既に県の気候非常事態宣言に賛同しており、屋上屋を架す必要があるか、陳情の内容に漏れや偏りがないか、防災対策を優先すべきではないか、公助を求める前にまず自助の活動が行われているかという点で疑問がある。議会の権限事項か、検討の必要があり、総花的に採択すべきでない。委員会審査で賛否同数の時点で不採択とすべき。（現状維持の原則）

**賛成討論**

◆村は県の「気候非常事態宣言」に賛同している。すなわち、ゼロカーボンへの取り組みを、住民とのパートナーシップで施策を推進し、地域主導による再生可能エネルギー事業を推進することを決意したということ。宣言を行い決意を固め、この地域に合った施策を考え、総合計画後期基本計画に記し、実行に移していく必要がある。

◆気候変動が基幹産業の農業や住民の生活に大きな影響を及ぼしている。今以上に状況が悪化することを防ぐために、住民が意識をして、行動していくことが大切。そのために宣言することは有効。村の姿勢を示しながら、皆で現状を共有し行動していくことが求められている。

# 一般質問

## 村政を問う

一般質問とは、議員が村の行財政について疑問点を質すことをいいます。
議会だよりでは、目次には全質問項目を、各議員のページには主な質問内容を掲載します。くわしい議事録は村のホームページに掲載します。


■ **中村 浩平 議員** ・・・・・・・・・・・・・・P 8
1. 教育委員候補者の選考方法の改善
2. 除雪契約の見直しと路面穴修復作業を委託へ
3. 村議選の総括と、公平・公正な選挙にするには
4. 有害鳥獣の駆除と農業振興

■ **北原 貴穂 議員** ・・・・・・・・・・・・・・P 9
1. 新型コロナウイルス対策
2. 払沢農村交流施設の建物補修
3. 公民館報のあり方

■ **森山 岩光 議員** ・・・・・・・・・・・・・・P 9
1. 新型コロナウイルス感染症対策
2. 景観形成推進と維持管理
3. 職員の人事管理

■ **平出 敏廣 議員** ・・・・・・・・・・・・・・P 9
1. 農業者及び事業者への持続化給付金追加支援事業等の考えは
2. ICT 教育での児童生徒に対する健康面が懸念されている事への予防処置は。家庭との連携は
3. オンライン学習の家庭への配慮と今後の対応は
4. 学校から家庭への情報提供
5. 顔面装飾付釣手土器レプリカ作成

■ **宮坂 早苗 議員** ・・・・・・・・・・・・・ P10
1. 地方への企業誘致と定住促進の取り組み
2. 移住時の働く場として、役場も選択肢として考えられる。例規の初任給・昇格・昇給等に関する規則の見直しをし、経験者採用の環境を整えては
3. 公の施設に係る指定管理の指定手続き・評価等

■ **半田 裕 議員** ・・・・・・・・・・・・・ P10
1. 新教育長として今後の展望はどうか
2. 子ども・子育て支援センターの進捗状況は
3. 次世代の学校教育を検討する体制整備を求める決議への対応は
4. 経済対策以外の新しい生活様式に対応した新型コロナウイルス対策は

■ **佐宗 利江 議員** ・・・・・・・・・・・・・ P10
1. GIGA スクール構想における進捗状況
2. 新型コロナウイルスによる村内事業者の影響
3. 新型コロナウイルスの影響による村内施設の経営状況
4. 原村図書館の月曜祝日の休館
5. 道路の安全の為の整備

■ **宮坂 紀博 議員** ・・・・・・・・・・・・・ P11
1. 新型コロナウイルス対策
2. 特定外来生物（植物）
3. 住環境整備

■ **松下 浩史 議員** ・・・・・・・・・・・・・ P11
1. 子どものスポーツ環境整備を
2. 住環境の整備


一般質問は事前に質問内容を通告することとしています。
質問時間は、１人につき質問答弁を含め 60 分以内で完了することとされています。
一問一答方式が採用されており、１項目につき２回まで再質問ができます。
質問者の数によりますが、午前中に３人、午後に３人ないし４人を基本に行います。

---

中村浩平

### 教育委員候補者の選考方法の改善

**質問**　区長から推薦状を出させていると聞いているが事実か。

**教育長**　当番ブロックの区長に依頼している。

**質問**　人格が高潔で教育に関し識見を有する委員に、住所や地区の概念は必要か。

**教育長**　地域的な隔りが出ないようにしている。

**質問**　本村ではいくら情熱や改革意欲があっても区長の推薦がないと候補者にもなれないのか。公募した上で候補者を選考すべきでは。

**教育長**　現行の体制の中で進めていきたい。

### 有害鳥獣の駆除と農業振興について

**質問**　村長就任以来、野生鹿の駆除数が年々減っているのはなぜか。

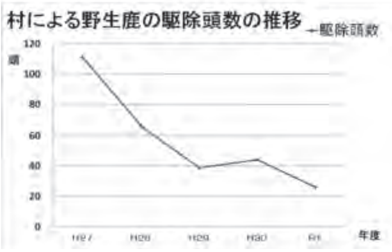
**村長**　因果関係はない。

**質問**　これまでの村のやり方に無理が生じているのではないか。

**村長**　即答しかねる。

**質問**　茅野市では昨年の駆除数が１０００頭を超え実績を上げている。村の駆除実施隊員に対して年報酬を支払い、一頭あたりの駆除単価も上げるべきでは。

**農林課長**　近隣市町村の方が本村よりも駆除単価が高額になっている。今後検討していく。




野生鹿の駆除数が年々減っている

北原貴穂

## 新型コロナ対策

**質問** 村内で感染が発生した際の広報体制は。

**村長** 村民の理解を得て冷静に対応してもらうことが重要。

**質問** 感染者に対する噂や中傷、差別等の防止策は。

**保健福祉課長** これは人権問題でもある。村全体で対応が必要。

**質問** 高齢者等には個々に呼びかけては。

**保健福祉課長** 機会があれば行っている。今後も啓発に努める。

## 払沢農村交流施設建物補修

**質問** 屋根、外壁タイル、軒柱などが傷んでおり、補修の要望があるが対応は。

**農林課長** 村では施設の傷み状況は確認していないので詳細がわからない。計画的に補修はしている。

## 公民館報のあり方

**質問** 発行回数の減少、編集委員の改選を経て、今後どのような紙面作りを行うか。

**教育長** 経費削減のため発行を年4回から3回に減らした。委員の改選は退任によるもの。個人の長期連載は順次終了する。一般からの投稿は幅広い内容、様々な視点で掲載する。

根元が腐食し機能していない危険な状態の軒柱

森山岩光

## コロナ感染症対策

**質問** 学校生活も大きく変わった。子どもの生活やメンタル面はどうか。

**教育長** 健康面、メンタル面で大きな異常を来たす子は聞いていない。不登校傾向の子も多くは中間教室に通い、長期欠席の子はわずか。これから行う行事、学びの遅れは子どもの心情に配慮し、安全なかたちで実施していく。

## 地域景観形成推進と維持管理

**質問** 未活動区域もあり中途半端な景観状況だ。今後の推進と維持管理は。

**村長** 景観計画を策定中だが、何を目的に活動していくのか方針を示し各組織と調整を図っていく。

## 職員の人事管理と危機管理体制強化

**質問** 自然災害の多発、コロナ感染症等の事案が常態化している。業務執行に支障はないか。

**村長** 一番の懸念は危機管理部門が少し弱いこと。庁内に組織検討委員会を立ち上げた。職員から提案を募り、業務の効率化や職場改善、働き方改革について検討し進めている。特に危機管理体制の強化を重点に組織改編の方向性を出していく。

コロナと共生した新たな学校生活

平出敏廣

## 持続化給付金追加支援事業の考えは

**質問** 新型コロナウイルス感染症による販売減少と、長雨による農作物被害が重なり痛手を被った農業者他、事業者への持続化給付金追加支援事業の考えは。

**農林課長** 村単独で花卉事業者限定ではあるが、売り上げが前年同月比2割以上5割未満の場合、支援している。野菜農家については8月、9月の状況をみて考える。

## ICT教育

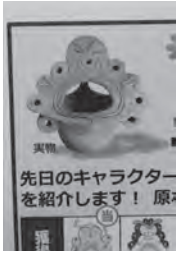
**質問** 児童生徒の健康対策は。

**教育長** 平成30年度の調査で視力1・0未満は小学生32・3%、中学生56・1%である。学校として、時間を決めるなどルールの中で使うよう指導し、家庭にも啓発していく。

## 顔面装飾付釣手土器レプリカ作成は

**質問** 2018年に県宝「信州の特色ある縄文土器」に指定された。愛称も決まり、キャラクターも決まる。県内外から貸出し展示希望もある。

**生涯学習課長** 「フゥーちゃん」の愛称が付き今後は情報発信に積極的に活用したい。補助金等を活用し、レプリカ制作を検討したい。




キャラクターも決定「火の女神フゥーちゃん」

宮坂早苗

## 企業誘致と定住促進

**質問**　新しい日常が定着していく中、自然豊かな地方での仕事と、生活環境が注目されている。密を避ける移動や中部横断自動車道が開通する事で、人の流れは大きく変わる。

企業誘致は、広い土地、大企業でなくても良い。業種も、デザイン・コンサルティング・情報サービス業等、都会でなくてもできる仕事は、地方に分散していく。

資源を見直し、企業誘致を進める考えは。

**村長**　商工業振興審議会の中でも、調査・審議をしていかなくてはならない。八ヶ岳を含めたこの地域は、利便性という面で非常に注目されている。小規模であっても、原村に根差す企業の育成と企業誘致に努めて行きたい。

**質問**　企業誘致を進める中で、本社機能の移転や社員が一緒に移住することも考えられる。定住促進の補助、リフォーム補助、子どものいる世帯への上乗せなどを考えては。

**建設課長**　今ある若者定住、リフォーム補助を、移住者対象に、空き家を含めた新しい補助制度としていく。

誘致可能な場所が限られている。資源の見直しが必要。

半田裕

## コロナ禍における文化教育的支援を

**質問**　県内第3位を誇る図書館の貸し出し率が低下している。電子図書を導入しオンライン化を進めては。

**生涯学習課長**　忙しくて時間のない方や高齢者へ向けての効果はあるだろうが村では年間60万円ほどの維持費を考えると難しい。

**意見**　小中のタブレット等ICT化の流れの中でいつかは必要だと考える。臨時交付金やふるさと納税の活用等も含め導入を検討していってもらいたい。

## 次世代の学校教育検討の体制整備を

**質問**　6月定例会で、オンライン学習を含む次世代の学校教育の検討を地域とともに連携して行うことを求める決議書が出された。それを受け、どのような検討がなされたか。

**教育長**　コミュニティスクールの組織を見直し、幅広い地域の人材を集めて、学校を支援していく体制を年内に整備をする。

**意見**　本村のコミュニティスクールは、他の市町村と比べるとまだ十分機能していない。これを機会に発展的に進めてもらいたい。

議会でも次世代の学校教育について学習会を実施

佐宗利江

## GIGAスクール構想

**質問**　進捗状況は。

**教育長**　遅れており、実際試行してみないと分からない。職員研修は進んでいない。前倒ししてやっていく。

## 診療所・事業者コロナ禍の影響は

**質問**　経営状況と今後は。

**保健福祉課長**　70～98%台で推移。訪問診察等導入し検討していく。

**商工観光課長**　0.7～99%で推移。観光関係は今後も引き続き50%以下で推移の予想。

## 図書館の月曜祝日の休館

**質問**　開館すべきでは。

**教育長**　平日は放課後児童が定着し、居場所がなくなる。職員の勤務条件もあり、可能かどうか検討していく。

## 道路の安全整備は

**質問**　菖蒲沢、判の木地区の渋滞緩和、安全整備の必要性について。

**村長**　新設の県道19号と合せ、中央道側道利用も検討。通勤時の渋滞原因は、富士見町の特定企業。責任があり、申入れをすべきと考えるが。

**建設水道課長**　地区や工業団地組合との協議を重ね、解決策を探す。

通勤時間帯の渋滞が激しい菖蒲沢区内の交差点

宮坂紀博

## 新型コロナ対策は

**質問**　冬季の施設利用について、検討しているか。断熱性能・省エネルギー基準の調査は。

**総務課長**　各施設において、適切に換気対策を行う。施設の調査が必要かどうか、これから研究していく。

**質問**　給付金・補助金・助成金等が、安易なご褒美でないか。成果を検証されたか。

**村長**　対策本部の中で、必要な事を実施している。現時点では、検証する段階ではない。

## 住環境整備は

**質問**　雨水排水の基準は。

**建設水道課長**　道路や宅地の舗装化により土壌の自然浸透率が低下し、用排水路の負荷が増えている。原則、宅地内処理、流量算定された排水設備配置、調整池。適切に指導はできている。

**質問**　けばけばしい色彩の外壁の家があるが。

**建設水道課長**　景観届の提出が義務化されているが、問題もあり県と相談をして指導を行っている。色使いは、景観計画の策定の中で研究している。

エコまち計画の概要
県内では、小諸市が策定している。

議会だより141号P8記事について、訂正し、お詫び申し上げます。

**誤**　参考：東京都がけ条例（建築完全条例第6条）
がけ・急斜地には建築の規制がある。

**正**　参考：東京都がけ条例（建築安全条例第6条）
長野県にはがけ条例が無い

松下浩史

## スポーツ振興は

**質問**　スポーツ特定団体補助金の今後の方針は。

**生涯学習課長**　少年野球とスケートだけが特定スポーツ団体ということで別枠で補助を受けているのが不公平と指摘があった。昨年度までは特別扱いであったが、今年度から他の団体と同様にスポーツ協会で、同じ基準で一律に監査を行い、補助金額を決定し、支払う。

**質問**　毎冬作られる校庭のスケートリンクは美しい村づくり推進委員会の「原村百景」でも残すべき文化とされている。小さな村の、そのリンクからは3名ものオリンピック選手が排出されている。スケートは伝統・文化として守るべき特別なものとしても良いのでは。

**教育長**　補助金を出す団体は全て特別と思っている。活動を促進していく意味では同じ位置づけで進めていくのが良いと思っている。

**質問**　縦の木荘等、村にはその気になれば全世界から人を呼ぶ環境がある。合宿誘致を推進し、スポーツ交流を通じて子どもたちに広い世界を見せたいが。

**教育長**　可能であれば、ぜひ進めていきたい。「可能であれば」の枠をうんと広げたい。

「原村百景」のひとつ、校庭スケートリンク

## 広域連合・一部事務組合議会報告

広域連合・事務組合とは、市町村単独では実施が難しいものや、共同で実施したほうが効率的な事業、施設運営などを行う組織です。

村に関係するものはここで紹介する広域連合1組織と事務組合4組織があります。広域連合・事務組合にも市町村同様に議会が設置され、構成する市町村から議会に議員が選出されています。

また、構成市町村では運営に必要な費用を負担しています。広域連合・事務組合の令和元年度決算と、そのうち原村が負担している金額について報告します。

**事務組合別　令和元年度決算一覧**　　単位：円

| 会計名 | 歳入 | 歳出 | 差引額 | 原村分担金 |
|---|---|---|---|---|
| **諏訪中央病院組合** | | | | |
| 病院事業 | 9,948,344,142 | 9,846,052,963 | 102,291,179 | 69,960,000 |
| 老人保健施設 | 436,653,148 | 413,742,896 | 22,910,252 | 2,750,000 |
| 老人福祉施設 | 425,517,539 | 442,188,133 | ▲ 16,670,594 | － |
| 看護専門学校 | 144,389,410 | 137,797,313 | 6,592,097 | 9,444,000 |
| **諏訪南行政事務組合** | | | | |
| 一般会計 | 83,945,360 | 77,026,464 | 6,918,896 | 5,765,000 |
| ごみ処理特別会計 | 882,825,828 | 798,681,726 | 84,144,102 | 54,752,000 |
| **諏訪広域連合** | | | | |
| 一般会計 | 310,934,721 | 266,615,696 | 44,319,025 | 10,929,023 |
| 救護施設八ヶ岳寮特別会計 | 403,779,070 | 377,094,552 | 26,684,518 | 2,800,529 |
| 介護保険特別会計 | 19,920,386,456 | 19,400,913,03 | 519,473,426 | 110,638,361 |
| 諏訪広域消防特別会計 | 2,515,480,943 | 2,387,306,122 | 128,174,821 | 140,724,241 |
| ふるさと振興基金事業特別会計 | 22,600,619 | 13,279,735 | 9,320,884 | － |
| **南諏衛生施設組合** | | | | |
| 一般会計 | 216,245,003 | 193,754,162 | 22,480,841 | 62,457,000 |
| **諏訪広域公立大学事務組合** | | | | |
| 一般会計 | 1,734,054,028 | 1,651,993,354 | 82,060,674 | 102,962 |

# 声　こんな村になってほしい！

「声」のコーナーでは、村の方々からお話をいただいています。
「こんな村になってほしい」をテーマに、お二人の声をお届けします。

## これからもおいしい給食を

### 石川　京子さん（やつがね）

中・高校生になった３人の子どもがいます。原村からは様々な子育支援をしてもらいながら、ここまで来た感じがします。中でも医療費助成は、高校生まで助成してもらえてとてもありがたいと思っています。

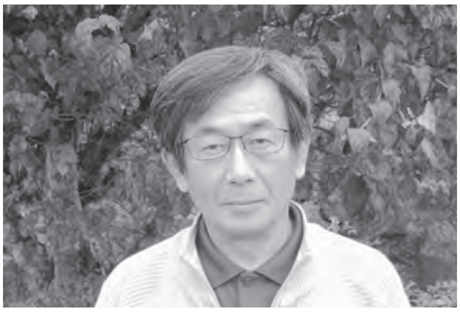
それから、保育園から中学校までおいしい給食で子供たちのお腹を満たしてくれるのもありがたいことの一つ。新鮮でおいしい原村の野菜をふんだんに使った栄養バランスのよい献立。毎日この給食を食べられる子どもたちは本当に幸せだと思います。

私自身も原村で生まれ育ちましたが、子育ても原村でできてよかったと思っています。

子ども達の代が親になっても、その子ども達がおいしい給食を食べて心も体も健やかに育つ原村であってほしいなと願っています。

## 二元代表制をみせる

### 阿部　泰和さん（八ツ手）



先日、令和３年度からの新たな計画を策定するための「地域福祉推進のためのアンケート調査」がありました。行政はサイレントマジョリティーをいかに汲み上げるか、という点において有効な手段でありましょう。それは同時に村政に関心を持ってもらう機会でもあります。その点において、アンケートにその後のスケジュールを示されていれば、より回答意欲を向上させたように思います。また、このアンケートの実施の予算があったのならば、議会の承認を経てのものでしょう。そうであれば二元代表制の一方の必要性を知らしめる機会でもあったのでは。二元代表制であるがためのメリットを活かした住民に寄り添う、よりよい村政のために議会も理事者と並走しているところを見せていただきたい。

## 編集後記

猛暑の夏が過ぎ、季節は秋を迎えた。現今のコロナ禍で、心は秋晴れとは行かないかも知れない。健康面や経済面に不安があれば尚更である。

だが、秋の味覚に舌鼓を打つ、秋の夜長に書をひもとくなど、新しい生活様式の下でも季節を楽しむことはできる。

年末に向け、忙しさや慌ただしさを感じる時期を迎えるが、秋の空を見上げ、木々の紅葉に目を向ける心の余裕を失わないようにしたい。

（北原記）

## 議会ホームページのご案内

議会だよりはページ数の制限もあり、定例会での審議内容や議会の活動の全てを掲載することができません。詳しい内容は議会ホームページの議事録などをご確認ください。

定例会日程も掲載されますので、参考にしていただき、是非、議会傍聴にお越しください。

はらむら議会だより 第 143 号
令和 2 年 11 月 10 日発行
発行：原村議会
編集：議会広報・広聴特別委員会
〒 391-0192 長野県諏訪郡原村 6549 番地 1
TEL：0266-79-2111　FAX：0266-79-7951
https://www.vill.hara.lg.jp　村議会をクリック

議会広報・広聴特別委員会

委員長　松下　浩史
副委員長　平出　敏廣
委員　森山　岩光
百瀬　嘉徳
佐宗　利江
北原　貴穂

## 議会の傍聴にお出かけください

次回の定例会は

**11 月 27 日（金）**

開会予定です。

役場 2 階総務課前で受付後、傍聴席にお越しください。
会期中の委員会の傍聴もできます。
お問い合わせは、議会事務局に（0266-79-7951）